

# 香川県森連時報

平成16年9月1日発行(年2回)



## 県森連第五十四回通常総会開催



▲議会で様子

去る五月三十一日、当連合会館二階会議室において、山本環境森林部長(代理出席/村井環境森林部次長)、県議会議長(代理出席/篠原環境建設委員長)をはじめ多くの来賓の方々のご臨席のもと第五十四回通常総会が開催された。

冒頭、真部会長は、厳しい林業情勢が長期に続く中、環境

**四国四県 森連 会長会議**

去る七月十三日(金)、市内「ニューフロンティアホテル」において、山本環境森林部長、渡部香川森林管理事務所長、武藤農林中央金庫高松支店長、木下全国森林組合連合会副会長を迎え、各県森連会長、専務が集まり「四国四県森連会長会議」を

開催した。会議では、各県森連から議題を持ちより、混沌とした低迷林業情勢を打開すべく、間伐促進対策、森林整備の明確化・拡充、森林国営保険制度の見直し、違法伐採の禁止等を熱心に審議し、全森連会長宛に要望書を提出した。



面から森林の公益性についての重要性が認識され、特に地球温暖化防止について森林整備が期待されている。「京都議定書」の二酸化炭素の削減については、間伐を効果的に行い森林を有効的に利用することが重要であることを強調した。平成十五年度事業については、主要事業の取組状況、また平成十六年度においては「香川森林組合改革プラン」に基づき、県下単一森林組合の実現に向けて取り組むこと、森林整備、特に間伐の推進に努めること、さらに新規事業として森林整備を担う中核的な林業技術者の育成を目的に「緑の雇用担い手育成対策事業」を実施するに当たり、会員各位、国、県、市町並びに関係者各位の絶大なご理解とご協力、ご支援を

お願い、議案審議のご協力を依頼された。

続いて、ご来賓の方々からのご祝辞をいただき、その後、優良組合員1名、感謝状7名の表彰を行った。

なお、優良組合員表彰、感謝状受賞の方々には次のとおり。(敬称略)

◆優良組合員◆  
長尾恭幸 香川西部森林組合

◆感謝状◆  
堀口忠雄 香川東森林組合連合会  
椎木謙一 香川東森林組合連合会  
三谷正俊 香川東森林組合連合会  
黒川美穂 香川東森林組合連合会  
宮崎 巖 香川東森林組合連合会  
織田武則 香川東森林組合連合会  
薬師寺良一 香川西部森林組合

議事については、議長に藤嶋塩江町森林組合長が選出され、提出九議案すべて可決承認された。

## 平成十六年度「緑の雇用担い手育成対策事業」の実施にあたって

林野庁が平成十六、十七年度に実施する「緑の雇用事業」は、林業に従事する担い手を確保・育成するための政策です。この事業は、緊急雇用対策による森林作業従事者のうち林業に就業することに意欲を持った方を「緑の研修生」として、①本格的に森林の整備を担うことができる能力を付与するための育成研修(植栽、下刈、除間伐等の森林の整備、事業に必要な測量)を180日間実施し、基幹的な林業就業者として本格雇用へと誘導します。また、本事業の事業円滑化目的として、②集合研修を20日間、監督・検査を25日間実施します。

### 「俺達はもう待てない」

平成十六年度緑の研修生 佃 保雅



昭和四十二年中秋の頃、私は家具業界に初めて身を投じた。以来三十七年の歳月、木がその姿を家具に変わっていったが、私達家族をはじめ、私達を取りまわっているすべての人達の身も心も育んでくれたのである。木のぬくもりと木の心や味を家具という型にして販売する事で死んでしまった生活の土と、伝承して来た三十七年の歳月であった。

その最後の年、平成十五年は家具界の母なる木々に情別の念を抱きながらすべての残務処理を終えた年間であった。そして翌年十六年、心や思い、木々達の心に導かれるように、緊急雇用対策事業で香川県森林組合連合会を訪れたのである。その後、「緑の雇用担い手育成対策事業」に参加を許され、木の心が私に与えてくれた天命のようなものを感ぜながら、不安と充実感の中で研修の日を過ごしている今日である。思うに五月十九日の開講式、オリエンテーションとその後の10日、机上での基礎研修を受けながら、これからお世話になる林業社会の不安ばかりが脳裏をかすめ、研修の中味は少しも頭に残らなシレンマに落ちた。同年世代の研修生達は一体どうなったのだろうか。しかし、彼等と話しながら不安の中にも少しづつ平常心を取り戻していったのである。私達が不安やストレスを感ぜたいよう、適切な配慮や心のケアをして下さる講師の先生方の心を理解出来るようになり、内容も身近なものに感じはじめたのである。

今、私は育成研修の前期がはじまり、2ヶ月が経過しようとしている。山へ入る



前の身体装備、各自前の手工具一式、その他折々に際して必要な器具が適切な説明と共に与えられ研修作業は着任したばかりだ。さあ後を振り向かず前を邁進しよう！2ヶ月前の長練使用実習にはじまり、手工具、刈払機、チェーンソー試験実習、測量計器(コンパス、建設機械(パンプホ)等々、研修現場の作業に充てた。最も最初は心配のオンパレード。それよりも細心の注意を払いながら育成研修実習を続ける。「間違えればおそれぬ事故、ケガが起ころかねない。自己保身、自己管理、危険予知能力等々」身につけている事は確かである。そのテンポは少々遅いが、安全第一に幸い、私達研修生の傍には、これからの林業界を背負って立つであろう優秀な講師の先生方が必要に応じて手取り足取り指導して下さるのである。本当に感謝の念に耐えない。これから先これらの若きエリート達を合せて、林業界の諸先輩達のようにも役に立てよう日々努力精進した。

育成研修は着任したばかりだが、この後専門研修、更なる育成研修の後期と続いている。「緑の雇用担い手育成対策事業」を通じて、「山で働く心」得を学び、しては、「山の幸」に親しむ心のゆとりを身につけて徹底した健康管理と自らを律する厳しい自己管理のもと自己研鑽に繋げた。木の心が私に教えてくれたレールの上で、「木にはじまり木で終わる人生」。

山々に次なる新緑の芽が生かころ、私も又自らの新芽を林業の中に投じて行きたいと思う。健康が許す限り、「木」は何も言わなくても、その心は新しい木の時代、それも国産材の木の時代が訪れる事を心待ちにして、はげしく育たなければならない。木々達に代わって誰かがそのカシを取らなければならない。日本の林業の未来のためにも！



# 直島山林火災の復旧について

この工事について無事竣工し、八月三日、検査を受けた。その後、梅雨、台風が続いていたが、この工事箇所においては土砂流出は無いと聞き胸を撫でおろしている次第である。

- ◎工事名/No.11森林荒廃地緊急整備事業
- ◎工事場所/香川県直島町字鷲ノ松地内
- ◎工事内容/施工箇所六ヶ所
  - 丸太構工 ●斜面整地
  - 植栽工:ウバメガシ(ポット苗) / 二七三本
  - ヤマモモ(ポット苗) / 二七三本
  - アキレ(ポット苗) / 二七三本
  - ネズミモチ(ポット苗) / 二七三本

山腹表土の流出が懸念されることについて、梅雨期までを目途に丸太構工等による森林荒廃地緊急整備事業が実施された。工事概要は次のとおりである。



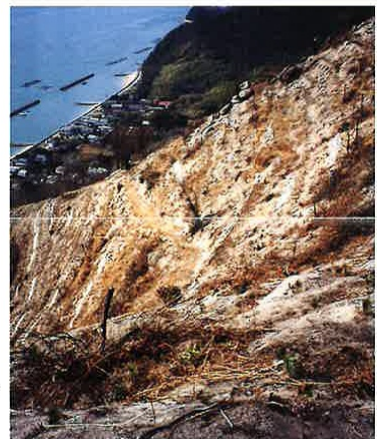
丸太構工の様子  
植栽の様子

平成十六年一月十三日に発生した火災は直島本島のおよそ十分の二に当たる二三ヘクタールの森林を消失し十四日、午後二時三十分鎮圧した。

火災跡の復旧計画は治山事業等により、保安林区域を中心に実施して行き、当面、五ヶ年で約三五ヘクタールを計画的に植林をして機能回復に努めるものと聞いている。

そして、事業実施に先駆け、特に人家の裏山で

## 本島、山火事復旧の概要



離島振興保安林改良事業は十月二十日より丸亀市産業課、本島支所森中所长、生ノ浜自治会橋会長、小阪自治会織部会長等の尽力を頂き新規採用の10名と4名のベテラン作業班員は生ノ浜三所神社で寝食を共にし実施。まず520mの作業歩道を開設し、五カ所に分かれている施工地の小阪側の岩場の多い部分に植生土のうを重点に配置し、残りの土壌の多いと思われる部分に柵工(金網)を美的にリズムがとれるようにしたいが、前回平成七年の火災でやりやすい所を先取りして柵工を施工しており、4200mを新規にいれるとなると前回部分と繋がってしまい綺麗にはみえない。今回は柵工のフーチング部分にネット付き植生帯を張り付ける設計で、十一月、一月の季節風は尋常ではなく、施工にあたってネットの糸が樹木の根にか

らみ、張りづらく、強く下から吹き上げてくる砂塵が目と気管にいり労災事故になりはしないかと心配した。午前中に施工、午後は宿舎で待機ということも多かった。この頃になると仕事との相性で新規雇用10名のうち4名が脱落した。二月になり植栽が始まった。潮風に強いクロマツ、郷土樹種コナラ、丸亀市の市木であるヤマモモ(ポット苗)の樹種が選ばれた。生ノ浜側はそれぞれha当たり3000本通しの9000本植え、3500本植えに慣れている作業班員には異常な間隔0.90m植えてもらった。岩の多い小阪側はそれぞれ1200本通しの3600本植えで植栽をした。三月になると追い込みになり、目鼻がついてくると作業班員も自宅にもどれる日が近づき作業能率が上がった。お陰で工期内竣工を達成することが出来た。植え穴1カ所あたり10回として60万回鍬を振った作業班員には頭がさがるばかりであった。施工面積8.17haの竣工検査は構造物の延長の1割以上、植栽はha当たり1カ所、離島で船便を気にしながら実動時間も少なく2日を要したがめでたく発注者に受け取ってもらえた。島に渡る出張は早朝より夜おそくまでかかり気の抜けない半年を過ごした。



施工の様子



地移の様子

## 林業コンサルタント室だより

林業コンサルタント室では、香川県西部林業事務所発注の平成16年度No.2西部地区森林整備事業実施測量調査委託業務を受注し、現在実行中である。今回受注した同業務の概要は下記のとおりである。(単位:ha)

区分	琴南町	満濃町	仲南町	計
本数調整伐	24.72	1.00	0.00	25.72
除 伐	5.57	11.66	10.00	27.23
計	30.29	12.66	10.00	52.95

## 森林組合系統組織を挙げて 取り組もう人権問題



★人権問題の取組に当たっては、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、HIV感染者等、刑を終えて出所した人などへの偏見や差別を除去する等々内容とする国民行動計画の趣旨を踏まえ、それぞれの分野において自らの問題として積極的な役割の発揮に努めること。

人権問題の啓発推進に取り組むこととなる基本事項